

【新協三目標】

1. 国民の住まいづくりに奉仕する
2. 中小建設業者との協力
共同で経営を発展させる
3. 建設にたずさわる人々の
生活向上をめざす

よい建物！よいアフター！

住まいの友 おおさか

<http://www.shinkyo-ken.co.jp>

大阪支店 osaka@shinkyo-ken.co.jp

新協建設工業(株)

大阪支店・堺営業所

堺市堺区寺地町東4-2-11

TEL 072-229-2873

FAX 072-229-2874

社会福祉法人 朋星会

ともっち保育園完成

紙上
内覧会

ともっち保育園が3月末に完成しました。
当初の工事予定より2か月遅れての着工でしたが
4月1日に開園することが出来ました。
工事中は保護者、お子さん、園の職員の皆さんには
大変お世話になりました。
引き続き2期工事もありますのでよろしくお願い
します。



◀ 4歳児の保育室



▶ 玄関内側



▲ 2階廊下



▲ 2歳児の保育室



▲ 園児用トイレ

光冷暖システムの体感

協力業者からのご紹介で光冷暖を体感してみたことと、事務所にお客様が来られました。

お話を聞くと30代の夫婦で現在新築住宅を検討している中で導入したいとのこと。

このシステムはラジエターを設置してその中を冷水や暖水を循環させて壁、天井に塗られた漆喰との間で放射熱の共鳴効果により冷暖房を行う事

を説明しました。エアコンとは異なり空気、冷暖房をしていないので、音も一切しないが部屋が暖かくなることに驚いてました。

電気代も熱源にエコキュートを使用しているので安く済みますが、初期費用が掛かるのでそのことを心配されていま

た。「いいものであることは実感したので、前向きに検討します」とのこと

「いいものであることは実感したので、前向きに検討します」とのこと



▶事務所内のラジエター

お帰りになされました。

光冷暖を体感してみたという方は、お気軽にお立ち寄りください。なお、留守にすることもございますのでお越しの際必ずご連絡ください。

お立ち寄りください。なお、留守にすることもございますのでお越しの際必ずご連絡ください。

必ずご連絡ください。

ちよつと建築の話

その1 解体工事

建築工事の中で一番初めに行われるのが解体工事です。

当初あった建物を取り壊して、新たに建てる用地をつくるためです。

取り壊すだけなので重機を使って一気に解体してしまえば簡単なように思いますが決してそうではありません。

騒音、振動、埃などが発生する作業なので近隣の方への配慮が必要です。

配慮を怠り作業をしているとすぐさま近隣から苦情が入ります。防音シートで覆い散水しながら少しずつ解体をする必要があります。また、建物は様々な材料が使われており、それらを分別して廃棄する必要があるからです。

コンクリート、鉄くず、瓦、木材、タタミ、断熱材など数えるときりがありません。以前は混合廃棄物として処分する事が出来ましたが、最近環境に対する考え方が厳しくなっているので分別が当

たり前になっています。

ですから、人間の手に選別して処分する為一気に解体が出来ないのです。

その上、現在は使用されていませが古い建物では断熱材として使用されていたアスベストが大きな問題となっています。解体によって空气中に漂い、吸い込むことで肺がんや中

脾腫を引き起こす為、現在では解体前にアスベストの使用の有無を確認することが必要です。もし使用されているのであれば、解体時に飛散しないようにする必要があります。処分する際にも飛散しないように厳重に管理して運搬処分する必要がありますので作業も大変です。当然のことですがその費用も掛か



住宅の断熱を学べる 体感型ショールームがオープン!

大阪南港にリクシル快適暮らし体験住まいスタジオが出来ました。新築住宅を検討中の方やリフォームを検討されている方は行かれて参考にはいかがでしょうか。なお、この施設は事前に予約が必要です。下記のアドレスから予約をする必要があります。

https://www.lixil.co.jp/s/sumai_studio/



- ①イントロダクション
- ②冬体感(室外0℃)
- ③冬体感(室内)
- ④断熱リフォーム体感
- ⑤夏体感
- ⑥窓比較
- ⑦ご相談エリア

リクシルHPより

ることになります。

大量生産、大量消費から分別することにより、ゴミを減らし使えるものは資源としてリサイクルする。環境への負荷を減らし地球にやさしい循環型社会の創生が、建設業界にも求められています。

編集後記

テレビ、新聞等のマスコミは週末の外出を控えてくださいと連日報道しています。それでも、新型コロナウイルスによる感染拡大が止まりません。

先日、志村けんさんが新型コロナウイルスにより亡くなりました。謹んでお悔やみを申し上げます。この報道がされるまでは、記者会見で「本日は感染者が何名増えました」と言う数字が増えていくだけで感染が怖いものだという実感はあまりありませんでした。しかし、誰でもが知っている志村けんさんの死だからこそ実感として感じる。追体験のようなものでしょうか。

その人の立場になって物事を考えると事の重大性がよくわかります。政治家は「外出を控えてください」と言いますが、人と接しての商売等で暮らしている人は大変です。政治が国民のことを思いやる、言わば「付度」。補償のことも併せて言わないとなかなか収まらないのではないのでしょうか。